

いっく うっく
厳し美しいの里



だより



発行者：厳し美しいの里協議会
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字冲野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

genbicc.jp



令和4年8月1日発行 第4号

防災についての 講演会を開催します



男女共同参画という言葉で、皆さんは何をイメージするでしょう。

男女平等が叫ばれて久しく、誰もが知っている言葉ですが『男女共同参画の視点を盛り込んだ防災』となると、ピンと来ない方もいらっしゃるのではないかと思います。

避難した際、女性や子ども、高齢者や障がい者等個別のニーズが必要な層に向けた備えは今のままで十分かと考えた場合、必ずしもすべてのニーズに対応できているとは限りません。

また、個別のニーズの違いを理解されず「優遇されている」と捉えられ、トラブルの原因になってしまうことも十分に考えられます。

さらに、日常生活に支援が必要な方は、防災への備えが十分にできていないことも考えられます。今回の講演会にご参加いただき、それぞれの事情に配慮した防災について一緒に学んでみませんか。

防災講演会

「災害時にこそ『男女共同参画』という思いやりを」

日時：令和4年8月30日（火）18：30～20：30

場所：厳美市民センター 和室

講師：一関市男女共同参画を推進する会 会長 佐藤 広徳 氏（防災士）

定員：30人程度

申込み：厳美市民センター（29-2205）へ
8月19日（金）までにお申し込みください。



巖美市民センターに巖美中2年生がやって来た ～社会体験～

7月4日から8日までの5日間、巖美中学校2年の生徒さん2名が巖美市民センターにて、社会体験を行いました。

期間中は巖美市民センター山谷、達古袋両分館、震災遺構 旧祭時大橋、長者滝橋、霜後の滝、矢櫃ダムなど巖美の名勝を巡り、あらためて故郷巖美を知ってもらったうえで、巖美市民センターのパンフレット作りにチャレンジしてもらいました。生徒さん手作りのパンフレットは11月の巖美地区民文化祭等でお披露目したいと思います。

また、以前募集した岩手宮城内陸地震の記憶シートや当時の写真を見ていただき、震災を経験していない世代の目を通しての感想文も書いていただきました。

世代間交流として、日頃巖美市民センターを利用している皆さんの活動に参加し、いきいき100歳体操や書道、ニュースポーツを通して地域の方々との交流も行っていただきました。明るくはきはきとした生徒さん方と一緒に活動したことで、地域の方々も笑顔になっていました。巖美地域の一員としても頼もしい生徒さん方でした。5日間ありがとうございました。



達古袋分館のなが〜い廊下で



市民センターのパンフレット作り



巖美地域の皆さんと その①



巖美地域の皆さんと その②



巖美地域の皆さんと その③

編集後記：気が付けばもう8月。指定管理に移行して5ヶ月目に突入しました。何とか日々の業務をこなしつつ、巖美地域の特色を活かした活性化の方法を模索している日々です。その第一弾として「災害時にこそ『男女共同参画』という思いやりを」をテーマにした講演会を開催します。岩手宮城内陸地震を経験した私たちだからこそ、今一度防災の備えについて考えてみてはいかがでしょうか。また、巖美ならではの郷土食など「伝えたいこと、もの」があればぜひお知らせください。(鈴木)